

コントローラ サーバ UCS C240 M4 の置換-vEPC

目次

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[省略形](#)

[Mop の作業の流れ](#)

[前提条件](#)

[バックアップ](#)

[予備ステータス チェック](#)

[コントローラ クラスタで困うディセーブル](#)

[新しい Controller ノードをインストールして下さい](#)

[Controller ノード 置換は曇ります](#)

[壊れた コントローラ ノードを削除することを準備して下さい](#)

[新しい Controller ノードを追加することを準備して下さい](#)

[手動操作の介入](#)

[曇らせませすコントローラのサービスを確認して下さい](#)

[L3 エージェント ルータを確定して下さい](#)

[計算サービスを確定して下さい](#)

[Controller ノードの困を再起動して下さい](#)

[サーバ 置換設定を掲示して下さい](#)

概要

ホスト StarOS バーチャルネットワークが機能することこの資料が設定される Ultra-M の不良なコントローラ サーバを取り替えるために必要なステップを記述したものです (VNFs)。

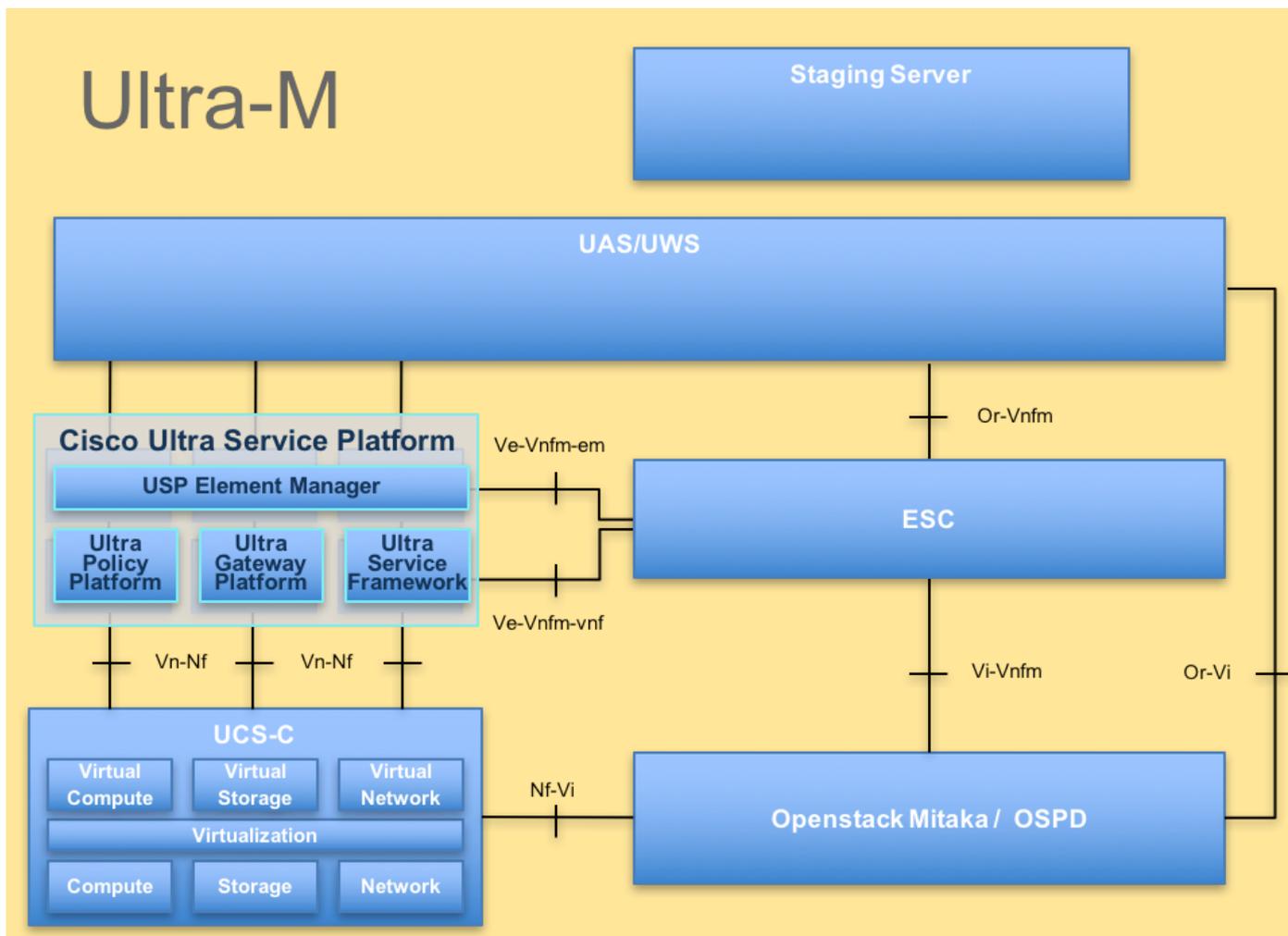
背景説明

Ultra-M は事前包装され、検証された仮想化されたモバイル パケット コア ソリューションです VNFs の配備を簡素化するために設計されている。OpenStack は Ultra-M のための Virtualized Infrastructure Manager (VIM) で、これらのノードタイプで構成されています:

- 計算
- オブジェクト ストレージ ディスク-計算 (OSD -計算)
- コントローラ
- OpenStack プラットフォーム-ディレクター (OSPD)

Ultra-M の高レベル アーキテクチャおよび含まれるコンポーネントはこのイメージで描写されま

す:



UltraM アーキテクチャ

この資料は Cisco Ultra-M プラットフォームについて詳しく知っているコントローラ サーバ 置換の時に OpenStack および StarOS VNF レベルで遂行されるために必要となるステップを詳述します Cisco社員ののために意図され。

注: 超 M 5.1.x リリースはこの資料の手順を定義するために考慮されます。

省略形

VNF	バーチャルネットワーク 機能
CF	制御機能
SF	サービス 機能
ESC	伸縮性があるサービス コントローラ
MOP	プロセスの方式
OSD	オブジェクト ストレージ ディスク
HDD	ハードディスク ドライブ
SSD	ソリッドステート ドライブ
VIM	仮想 な インフラストラクチャ マネージャ
VM	仮想マシン
EM	Element Manager

UAS Ultra Automation Services
UUID ユニバーサル固有の識別番号

Mop の作業の流れ

